

(5) 出産手当金

- 出産手当金については、現行の給付水準を維持すべきとの意見、ILO条約の水準に引き上げるべきとの意見、受給者の実態等を踏まえ給付水準や要件について見直しを検討すべきとの意見があった。

(6) 埋葬料

- 埋葬料については、保険給付としての必要性は薄くなっているのではないかといった観点から、検討すべきである。

(57) 薬剤給付

- 薬剤給付についても、後発医薬品の使用促進、後発医薬品のある先発医薬品薬価の適正化、画期的新薬の適切な評価といった観点から幅広く検討すべきである。

(68) その他

- 上記の他、更にどのような方策があり得るか、引き続き検討すべきである。

3. 医療費適正化に資するその他の施策

(1) IT化の推進

- 医療機関・保険者双方のコストを削減するとともに、疾病動向や医療費の分析を適時・的確に行い、保険者としての機能を発揮しやすくするため、レセプトの電子化等を進めるべきとの意見があった。

(2) その他

- IT化の推進、高額医療の医学的妥当性の検証、医療機関による医療費の個別単価など詳細な内容のわかる領収書の発行の促進、多剤投薬の是正等についても引き続き検討すべきであるとの意見があった。